

手前の水路に小舟が浮かんでいます。田んぼには稻わらが積み上げられており、京阪電車の沿線から東を望んだ晩秋の田園風景です。周囲より低地だったこの一帯は当時、「木田千万石沼」と呼ばれ、水路が巡っていました。田んぼや畠に行ったり、収穫した米や野菜を運んだりする農作業に舟は欠かせなかったそうです。



むかし

昭和34年秋

ねやがわ  
いま  
むかし

写真館



61  
年後



いま

令和2年11月

木田町の西川勉さん提供の写真を使用しました。30年以上前の市内の光景写真を貸してもらえる人は企画二課まで連絡してください。

線路の高架下から撮影しました。友呂岐水路から寝屋川の下をくぐってひかれていた水路は埋め立てられて市道になりました、スキがなびく田んぼは住宅地に変わりました(撮影地…木田町)。